

番号	2-4-1		表題	東京都における下水熱利用拡大に向けた新たな取組について		
内 容	<p>下水道事業では、下水や汚泥を処理する過程で電気や燃料を大量に必要とし、多くの温室効果ガスを排出する。東京都下水道局の温室効果ガス排出量は都庁全体の排出量の約35%を占めるなど、地球温暖化防止に対する大きな責務を負っている。</p> <p>そのため当局では、下水道事業における地球温暖化防止計画「アースプラン」を策定し、2030年度までに温室効果ガス排出量を2000年度比30%以上削減することを目標に掲げ、その達成に向け設備の省エネルギー化や再生可能エネルギーの利用拡大など、様々な削減策を実施している。</p> <p>その対策の一つとして、当局では、再生可能エネルギーに位置付けられている下水熱の利用に積極的に取り組んでいる。現在まで、民間事業者等と連携して地域における下水熱の利用を推進し、その結果、都内における下水熱利用事例は5件にのぼる。しかし、全国での下水熱利用事例は32件に留まっており、下水熱利用を推進していくためには、更なる拡大に向けた取組が必要とされている。</p> <p>本稿では、これまでの当局における下水熱利用の取組と、更なる拡大に向け下水道管からの熱利用を促進するための取組について報告する。</p>					
キーワード	下水道資源、資源有効利用、下水熱、再生可能エネルギー					
処理区名	-	位置区分	管きよ、水再生センター、処理水 放流水			
職種区分	設備	施策区分	エネルギー 熱利用			
状態区分	調査 研究	新規性	-			
実施年度	令和3年度	全体期間	-			
担当部署	計画調整部計画課企画担当					
発表履歴	局内	-				
発表履歴	局外	第58回下水道研究発表会				
調査方法	直営調査					
関連情報	-					